７／１１　校長室より №252

　15 日(土)、吹奏楽部が「吹奏楽コンクール置賜地区大会」に出場します。本日、壮行演奏会を行いましたが、その中で次のような激励の言葉を贈りました。

　放課後、部活動のようすを見るために校舎を回る時、いつも感心していることがあります。それは、吹奏楽部のカバンの並べ方です。広廊下の壁際に同じ向きで整然と並べられています。飯豊中吹奏楽部の良き伝統です。これを見ただけでもいい活動ができているとわかります。

　さて、吹奏楽コンクール置賜地区大会が今週末に迫ってきました。これから演奏する「蒼き海と船乗り」という曲でコンクールに挑むわけですが、とてもいい曲ですね。放課後、この曲が聞こえてくるたびそう思います。吹奏楽部のみなさんは、2月末からこの曲を懸命に練習してきました。初めのうちは覚束ない演奏でしたが、5月・6月と練習が積み上がってくると、徐々に曲が仕上がってきました。ここまで来るには、部員一人一人の努力と、悩みや苦労があったはずです。また、部としても様々な葛藤や時には対立もあったことでしょう。みなさんは、それらを乗り越えて、今、この場に立っています。

　コンクール当日は、「今まで努力し

てきた自分」と「支え合ってきた仲間」を信じ、そして「周りの人への感謝」を忘れずに、最高の自分、最高の自分たちを表現してきてください。みなさん自身が納得のいく演奏をし、最高の笑顔で帰ってくることを期待します。